

施策名：未来を担うNPO（NPO法人・ボランティア団体・地域コミュニティ団体等）の育成と協働の推進

事業名	担当課・室名	ページ
災害ボランティアセンター運営支援事業	県民生活・男女共同参画課	1 / 3
地域を担うNPO協働モデル創出事業	県民生活・男女共同参画課	2 / 3
クリーンロード支援事業	道路保全課	3 / 3

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成29年度)

(評価実施年度：平成30年度)

別紙2-4

事業名	災害ボランティアセンター運営支援事業	事業期間	平成25年度～平成 年度	政策区分	多様な県民活動の推進	
				施策区分	未来を担うNPO（NPO法人・ボランティア団体・地域コミュニティ団体等）の育成と協働の推進	
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課（室）名	県民生活・男女共同参画課	評価者	県民生活・男女共同参画課長 森崎 純次

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	災害時の被災者への支援に取り組むNPO・ボランティアの活動を促進するため、災害ボランティアセンター設置・運営の中心となる頼れるリーダーのさらなる育成、センターの活動を支える体制づくりとスタッフの育成、被災者ニーズを把握しボランティアへつなぐ業務の効率化が課題となっている。	事業の目的	災害ボランティアセンターを設置・運営する人材を育成し、県内で大規模災害が起きた際の速やかなセンター設置と円滑な運営を実現するため、多様な機関・団体が連携できる体制づくり、生活復旧支援の視点と技能を持ったリーダーや運営を支えるスタッフの育成、効率的な運営を可能にするシステムの構築を支援する。
-------	--	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
①被災者ニーズ把握システムの構築 被災者ニーズを災害ボランティアにつなぐためのシステムを構築	①	5,536	総コスト	6,520	16,884	10,708
②災害ボランティアセンター運営スタッフ育成の支援 災害ボランティアセンターをスタッフとして支える地域人材を育成	②	2,630	事業費	2,520	10,884	4,708
③災害ボランティアセンター運営リーダー育成の支援 災害ボランティアセンターで運営の核となる人材を育成	③	1,530	(うち一般財源)	24	9	
④市町村災害ボランティアネットワーク協議会の設立支援 災害ボランティアセンターの円滑な運営のため、専門家団体や地域住民による協議会を設置	④	711	人件費	4,000	6,000	6,000
	計	10,407	職員数(人)	0.40	0.60	0.60

活動指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(年度)	評価割合	評価	
	被災者ニーズ把握システムの構築(セット)	目標値			1			53%	災害ボランティアセンター運営リーダー研修開催回数(回)	目標値		2	2			15%
	実績値			1			実績値				2					
	達成率			100.0%			達成率				100.0%					
災害ボランティアセンター運営スタッフ研修開催回数(回)	目標値		6	7	7		25%	市町村災害ボランティアネットワーク協議会の設立	目標値	2	12	9		7%		
	実績値		6	10				実績値		1	3					
	達成率		100.0%	142.9%				達成率		50.0%	25.0%					

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
災害ボランティアセンター運営スタッフ研修受講者数(人)	目標値		250	300	300		a	九州北部豪雨及び台風第18号の影響により、当初計画どおりには進捗しなかったが、災害に対する意識が向上した結果、受講者数が目標値を上回ったとともに、来期に向けて研修ノウハウを広く共有できた。
	実績値		417	344				
	達成率		166.8%	114.7%				

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> 頼れる運営リーダー(例：大分県災害時社協支援専門員など)の増員 センター運営を支える人員の養成 被災者支援を支える地域団体や企業のネットワークづくり 	今後の事業の方針 <ul style="list-style-type: none"> 頼れる運営リーダーの増員と長期にわたる生活復旧支援活動に備えた研修の実施 運営スタッフの育成 地域で連携した被災者支援を行うためのネットワークづくり 		<input checked="" type="radio"/>		

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成29年度)

別紙2-4

(評価実施年度：平成30年度)

事業名	地域を担うNPO協働モデル創出事業	事業期間	平成27年度～平成31年度	政策区分	多様な県民活動の推進
総合評価	A	事業実施課(室)名	県民生活・男女共同参画課	施策区分	未来を担うNPO(NPO法人・ボランティア団体・地域コミュニティ団体等)の育成と協働の推進
	継続・見直し			評価者	県民生活・男女共同参画課長 森崎 純次

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	県民ニーズ、価値観が多様化・高度化し、人口減少、少子高齢化等により、地域での支え合いが減少している。公共的な課題を継続的に解決するため、NPO等と連携した社会全体での取組が不足している。	事業の目的	NPOの公共の担い手としての認知度を向上し、活性化を図るため、NPOと行政、企業等による多様な主体との協働を推進し、地域課題の解決に継続的に取り組むモデルを創出する。
-------	---	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
①協働モデル事業の創出 NPOが、行政・企業・地域住民等と実行委員会を組織して地域課題を継続的に解決する協働モデルを創り出すことを目的に実施	①	25,126	総コスト	26,145	34,816	36,728
	②		事業費	13,145	21,816	16,728
	③		(うち一般財源)	13,145	21,816	0
	④		人件費	13,000	13,000	20,000
	計	25,126	職員数(人)	1.30	1.30	2.00

活動指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(31年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
a	提案公募に対する応募件数(件)	目標値	10	10	0	0	100%		目標値						
		実績値	18	11					実績値						
		達成率	180.0%	110.0%					達成率						
	採択事業への支援件数(件)	目標値			24	24			目標値						
		実績値							実績値						
		達成率							達成率						

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(31年度)	評価	事業の成果
a	モデルの構築数(件)	目標値	8	12	12	12	a	提案内容についての事前協議や公開プレゼンテーションの実施により、全応募団体の提案力の底上げとなった。
		実績値	8	12				
		達成率	100.0%	100.0%				

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> 継続性のある事業モデル構築に向けた工夫 NPO活動への県民理解と参加の促進 県内各地への協働モデルの普及推進 	今後の事業方針 <ul style="list-style-type: none"> 27年度採択事業について、7月頃に成果報告会を実施し、事業成果や協働のノウハウについて議論 28年度及び29年度採択事業について、9月頃に中間報告会を実施し、事業成果や問題点を検証 県政広報媒体を活用した広報活動を強化し、NPO施策に対する県民理解と参加を促進 				

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成29年度)

別紙2-4

(評価実施年度：平成30年度)

事業名	クリーンロード支援事業	事業期間	平成25年度～平成 年度	政策区分	多様な県民活動の推進	
				施策区分	未来を担うNPO（NPO法人・ボランティア団体・地域コミュニティ団体等）の育成と協働の推進	
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課（室）名	道路保全課	評価者	道路保全課長 山本 真哉

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	美しく快適な県土づくりとして、良好な道路環境を保全するため、県民一人ひとりの自発的な環境保全活動を推進することが重要である。	事業の目的	良好な道路環境の保全や官民協働による効果的な道路維持管理体制の確立を図るため、地域で道路美化活動を行う自治会やボランティア団体等の支援や道路に対する愛護気運の醸成を行う。
-------	--	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
①美化事業（草刈り活動推進） 草刈り活動に対する支援（143団体） 草刈り活動者に対する保険加入（延べ6,786人） 3年継続団体への表彰（41団体） ②支援事業（花植え等支援） 花植え等活動の団体への支援（27団体1,996人）	①	14,970	総コスト	17,998	18,000	18,000
	②	1,030	事業費	15,998	16,000	16,000
	③		（うち一般財源）	15,998	16,000	16,000
	④		人件費	2,000	2,000	2,000
	計	16,000	職員数（人）	0.20	0.20	0.20

活動指標	指標名（単位）	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成（年度）	評価割合	指標名（単位）	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成（年度）	評価割合	評価
	美化事業 ボランティア活動参加人数（人）	目標値	3,700	3,700	3,700				94%	目標値					
	実績値	3,690	3,855					実績値							
	達成率	99.7%	104.2%					達成率							
支援事業 ボランティア活動参加人数（人）	目標値	1,300	1,300	1,300			6%	目標値							
	実績値	1,346	1,996					実績値							
	達成率	103.5%	153.5%					達成率							

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名（単位）	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成（年度）	評価	事業の成果
草刈り面積（㎡）	目標値	1,315,000	1,315,000	1,315,000			a	「美化事業」・「支援事業」とともに目標を達成している。草刈り面積も目標を達成する結果となっており、官民協働による道路の美化が実現できた。
	実績値	1,369,898	1,370,575					
	達成率	104.2%	104.2%					

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
・新規参加団体の掘り起こし	今後の事業方針 ・効果的な道路維持管理体制の確立に向け、より多くの団体に参加してもらうための継続的な広報活動の実施（県庁HPへの掲載、ラジオスポット放送、市町村への事業紹介依頼等）				